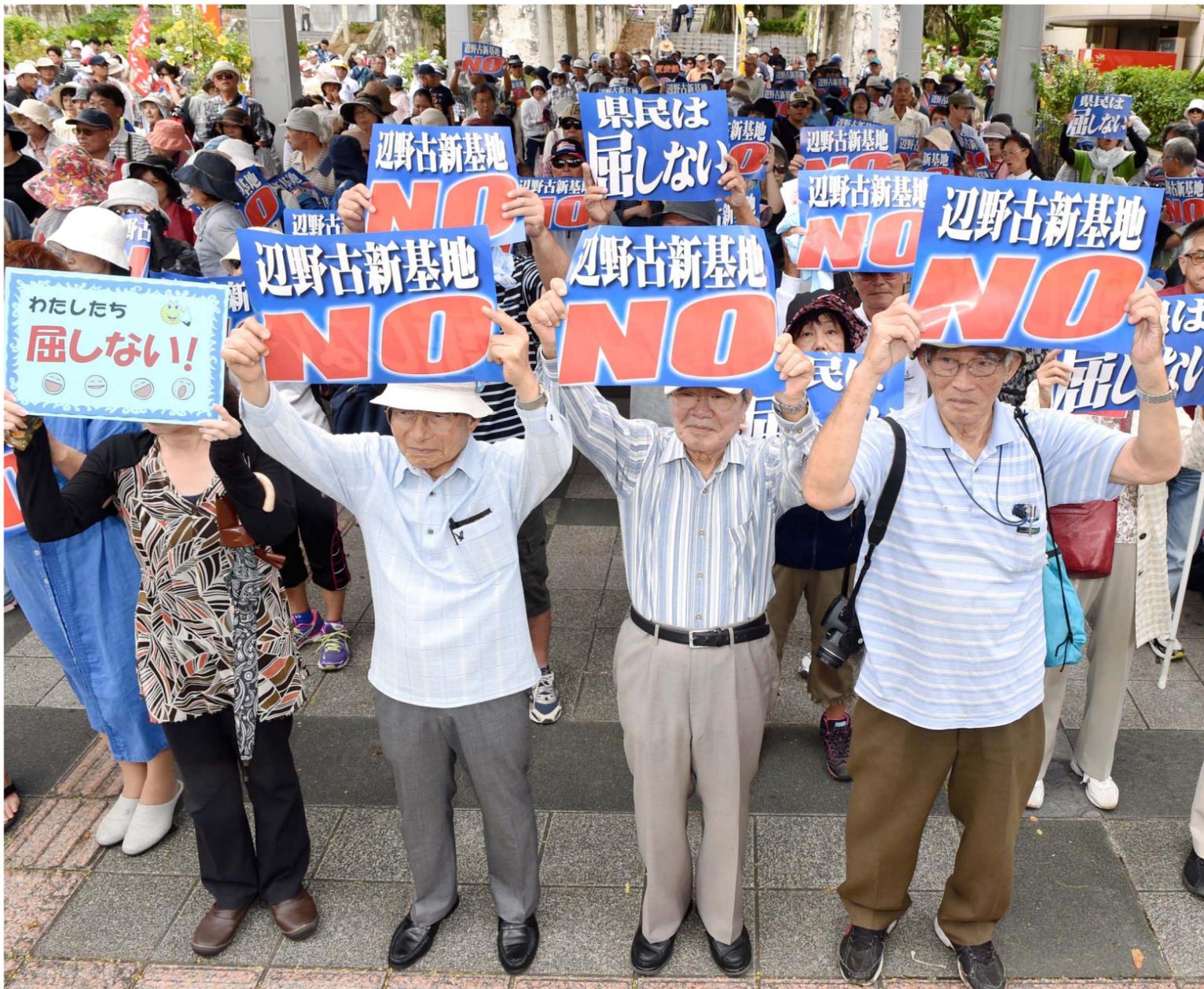


辺野古阻止「人間の鎖」



1000人県庁を包囲

名護市辺野古への新基地建設反対を訴える県庁包囲行動の参加者ら＝9日午前11時48分ごろ、那覇市の県民広場

【辺野古問題取材班】米軍普天間飛行場の移設に伴う、名護市辺野古の新基地建設に反対の意思を示そうと、県内の市民団体などは9日正午、人間の鎖で県庁周辺を囲む「止めよう新基地建設！10・9県庁包囲県民大行動」を行った。正午現在、少なくとも参加者千人が集まり、海をイメージした青色を基調とした、「辺野古新基地 NO(ノー)」「屈しない！」と記された紙を掲げた。

沖縄防衛局が提出した埋め立て工法の変更申請について、県が不承認にすることも求めた。

シュワブ内で建物解体工事が始まった7月1日以降、実行委は8月23日と9月20日にも辺野古で県民集会を開催。今回はその第3弾という位置付け。知事の承認取り消し、新基地反対などを訴えた県庁包囲行動は今年2月にも実施された。

包囲行動には名護市や宜野湾市から駆け付けたたり、昼食時間などに訪れたりした参加者が「埋め立て承認の取り消しを」「工法変更申請を認めるな」と声を上げた。

実行委は「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議、沖縄平和運動センター、県選出・出身野党国会議員でつくる「うりずんの会」と県議会野党4党派、県統一連、平和市民連絡会、へり基地反対協議会で構成する。

県庁包囲行動を前にガンバローで氣勢を上げる参加者＝9日午前11時31分ごろ、那覇市の県民広場



新基地反対 抗議続く



メッセージボードを受け取る県庁包囲行動の参加者＝9日午前11時39分ごろ、那覇市の県民広場



県庁包囲行動を前に「沖縄を返せ」などを合唱する参加者ら＝9日午前11時22分ごろ、県民広場



新基地建設反対やシヨコン保護を訴えるボード掲げる包囲行動参加者ら＝9日午前11時17分ごろ、県民広場



県庁包囲行動を前に周辺の警備に当たる機動隊＝9日午前11時38分ごろ